

令和4年度 こどもみらい科 1年

教 育 課 程 表

授 業 計 画

学校法人 実教学園

F■C フチガミ医療福祉専門学校

こどもみらい科 1年

令和4年度

科目名	時間数	単位数
生涯スポーツ	30	2
幼児と音楽表現	16	1
教育心理学	16	1
幼児の心理学	16	1
健康(指導法)	16	1
幼児と人間関係	16	1
人間関係(指導法)	16	1
教育原理	30	2
造形表現(指導法)	32	2
音楽表現(指導法)	16	1
幼児と環境	16	1
環境(指導法)	16	1
幼児と言葉	16	1
言葉(指導法)	16	1
社会福祉	30	2
社会的養護Ⅰ	30	2
劇あそび(指導法)	16	1
教育課程総論	30	2
教育方法論	30	2
教職概論	30	2
教育実習事前事後指導	10	1
保育内容総論	16	1
児童文化Ⅰ	16	1
キャリア形成Ⅰ	60	4
ピアノ演習Ⅰ	30	2
合 計	566	37

科目名	生涯スポーツ	担当者	町田 弘幸	クラス	期 別
				NT	通年

1. 教育目標

生涯スポーツの土台となる幼児期及び青年期における身体活動・スポーツの意義や役割を理解することができる。

生涯において、身体活動やスポーツを楽しむ態度を身につける。

授業中の活動において、様々な運動・スポーツのレパートリーを増やすことができる。

子供から高齢者、また障がい者などを対象とした運動・スポーツ活動に関する基礎的な技能を習得する。

2. 授業内容

体育・スポーツ教育の中核目標である。「できる」ことにくわえ、「わかる」ことや「みんながうまくなる」ことを共通目標とする。特に、生涯スポーツの土台となる子どもの運動あそびを体験することを通して、保育者として必要な運動あそびのレパートリーを増やすことと、対象や目的に応じたルール、やり方等のバリエーションの広げ方について理解できるようにする。

3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	アイスブレイキング（出会いのゲーム）
3	コミュニケーションワーク
4	用具を使った運動① 「縄」
5	用具を使った運動② 「ボール」
6	スポーツ「バレーボール」基礎技術
7	スポーツ「バレーボール」応用技術（戦術）
8	スポーツ「バレーボール」ゲーム
9	スポーツ「卓球」シングルス基礎技術
10	スポーツ「卓球」ダブルス基礎技術
11	スポーツ「卓球」ゲーム
12	スポーツ「バドミントン」シングルス基礎技術
13	スポーツ「バドミントン」ダブルス基礎技術
14	スポーツ「バドミントン」ゲーム
15	まとめ

4. 評価方法

授業中の態度及びスポーツ技術

5. テキスト及び参考書

『運動あそびの進め方』創文企画

6. 実務経験の有無

☐ あり （ 資格・職種 ： ）

7. その他

科目名	幼児と音楽表現	担当者	有馬 あゆみ	クラス	期 別
				NT	通年

1. 教育目標

幼児教育に携わる保育者の音楽技術の習得、
及び資質の向上を目指して学習する

2. 授業内容

<声楽>

子どもに歌い聴かせうるための声楽の基礎(発声法)を学ぶとともに、子どもの歌を中心に
歌唱表現力を高め、作品解釈も行う

<器楽演奏>

バイエルやマーチを中心として楽曲構成を学び、演奏表現力を身につける

3. 授業計画

1	ガイダンス 基礎練習			
2	記録票 声楽	1	1～16	ピアノレッスン
3		2	記録票 ピアノ① 17～25	
4		3	17～25	
5		4	記録票 ピアノ② 26～34	
6		5	35～47	
7	試験課題発表 レッスン			
8	実技試験			

4. 評価方法

◎レッスンの受講姿勢

◎実技試験の成績

- ・記録票 声楽から指定曲を2曲歌う
- ・記録票 ピアノ①からバイエルの音階と左手のコード奏、
マーチから1曲を演奏、子どもの歌から1曲演奏

5. テキスト及び参考書

近畿大学テキスト2冊（音楽：ピアノ教本と声楽教本）

6. その他

声楽・ピアノともに練習あるのみです。短時間でも毎日続けていくことが上達のカギとなります。記録票の進度に合わせ、焦ることなく丁寧に取り組んでください。特にピアノについては初見状態でのレッスンは成立しないので、予習・自己研鑽は必須です。

科目名	⑤教育心理学	担当者	阪本英二	クラス	期別
				NT	後期

1. 教育目標

ひろく子どもの学習や発達にかかわっていく上で、理解しておくべき心理学理論や心理的支援を学ぶことが目標である。学習した内容を自らの言葉で表現できるようにし、身近な出来事を新たな視点から捉えることができるようにする。それにより、子どもの日常的な行動をより深く洞察するとともに、それを支える具体的実践が可能となる基礎を築くことが高次の目標である。

2. 授業内容

「学習」「動機づけ」「発達」「パーソナリティ形成」に関する心理学理論と、教育や保育の実践にとってより関連性の高い話題を抽出して扱う。穴埋め式のワークシート及び文献、図表、動画などの資料を交えた講義をもとに、自らの考えをまとめ、ディスカッションをおこなう。

3. 授業計画

1	学習理論の応用①：どのようにほめればよいか
2	学習理論の応用②：無力感や恐怖も学習してしまう？
3	動機づけ論の応用：やる気をどのように高められるか
4	青年期と成年期：子どもを生み育てる側になること
5	パーソナリティ（性格）：精神分析から学ぶ
6	個人と集団：「みんな」の中の自分
7	心理療法から学ぶ：問題行動の理解を深めるために
8	レポート：自分の考えをまとめる

4. 評価方法

レポート課題	70%
授業への参加度・出席	30%

5. テキスト及び参考書

テキスト：『保育に生かす教育心理学』 2008 伊藤健次（編） みらい
 参考書：『やさしい教育心理学（第5版）』 2019 鎌原雅彦・竹綱誠一郎 有斐閣

6. 実務経験の有無

☐ あり （ 経歴 ）

7. その他

一部、内容を変更する場合がある。

科目名	幼児の心理学	担当者	阪本英二	クラス	期別
				NT	前期

1. 教育目標

幼児の行動や発達についての基礎的な心理学理論を概観し習得することが目標である。その過程を通して、子どもが学び育つことにおいて、養育者や保育者が子どもとどのようにかかわりをもつのか、どのような環境が支えとなるのかについて、深い洞察を得ることが高次の目標である。

2. 授業内容

穴埋め式のワークシートを利用し、文献、図表、動画などの資料を交えて講義する。「学習理論」「動機づけ」「発達」「知能検査と発達検査」の4単元について、幼児に焦点をあてて講義する。

3. 授業計画

1	イントロダクション、学習理論①：できるようになる・するようになる
2	学習理論②：様々な学習・気をつけたい学習
3	動機づけ：やる気を高める
4	発達①：生まれ育つ・育てる・育てられる
5	発達②：環境とかかわりながらの認知発達
6	発達③：愛着・発達障害
7	知能検査と発達検査
8	定期試験

4. 評価方法

試験（期末）	70%
平常点（出席点）	30%

5. テキスト及び参考書

テキスト：『保育に生かす教育心理学』 2008 伊藤健次（編） みらい
参考書：『やさしい教育心理学（第5版）』 2019 鎌原雅彦・竹綱誠一郎 有斐閣

6. 実務経験の有無

☐ あり （ 経歴 ： ）

7. その他

科目名	健康(指導法)	担当者	町田弘幸	クラス	期 別
				NT	通年

1. 教育目標

- ・子供の健康活動の重要性及び子供の心身の発達段階の特徴について述べることができる
- ・保育現場の安全対策、健康指導について説明できる

2. 授業内容

子供の健康の重要性及び子供を取り巻く問題、今後の課題について解説する。生命誕生から発達段階各期の特徴について講義を進める。

3. 授業計画

1	子どもの成長・発達・発育の区分 身体発育と評価 身長・体重
2	身体発育と評価 身長・体重 頭囲 胸囲 骨 歯
3	身体発育に影響を及ぼす因子 脳・感覚器の発達
4	運動器の発達 生理機能の発達 体温・呼吸・循環
5	生理機能の発達 消化吸収・排泄・水分代謝
6	健康と運動発達 年齢・発達に応じた運動指導
7	健康と運動発達 遊びの環境づくり
8	子どもの事故 予防と安全対策・危機管理 まとめ

4. 評価方法

授業への参加態度 発表&小テスト

5. テキスト及び参考書

6. 実務経験の有無

☐ あり (資格・職種 :)

7. その他

プリント配布

科目名	幼児と人間関係	担当者	蓮井 栄二	クラス	期 別
				NT	前・後期

1. 教育目標

- 人とのかかわりに関する領域「人間関係」に関する教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を学ぶ
- 子どもや保育者の事例を読み解くことで、関連する理論と結びつけながら子どもを理解する方法について学ぶ

2. 授業内容

- テキストを中心に領域「人間関係」について学ぶ
- 授業内容に関連する資料等を確認し、理解を深める

3. 授業計画

1	保育内容の人間関係とはなにか
2	0・1・2歳児の発達と保育者の援助
3	3・4・5歳児の発達と保育者の援助
4	愛着形成の理論と実際
5	子どもの自立心、自己主張と自己発揮、いざこざ・けんか、共感・思いやり
6	道徳性・規範意識、コミュニケーション能力、個と集団の育ち
7	まとめ
8	試験

4. 評価方法

- 試験 : 70 点
- 出席、授業態度 : 30 点

5. テキスト及び参考書

- テキスト：塚本美知子著 『対話的・深い学びの保育内容 人間関係』 榊原文出版
- 参考文献：保育所保育指針、幼稚園教育要領、他授業中に紹介

6. 実務経験の有無

- ☐ あり (資格・職種 :)

7. その他

- なし

科目名	人間関係（指導法）	担当者	蓮井 栄二	クラス	期 別
				NT	前・後期

1. 教育目標

- 幼児と人間関係で学んだ領域「人間関係」について理解を深め、教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を学ぶ
- 実際に子どもや保育者の事例を読み解き、関連する理論と結びつけながら子どもを理解する方法について学ぶ

2. 授業内容

- 領域「人間関係」について事例を通し学ぶ
- 幼児と人間関係で学んだことを振り返りながら模擬保育を計画する

3. 授業計画

1	幼児と人間関係の内容の復習
2	事例検討 1
3	事例検討 2
4	事例検討 3
5	模擬保育 企画 1
6	模擬保育 企画 2
7	模擬保育 発表
8	模擬保育 振り返り

4. 評価方法

- 発表 : 70 点
- 出席、授業態度 : 30 点

5. テキスト及び参考書

- テキスト：塚本美知子著 『対話的・深い学びの保育内容 人間関係』 榊原文出版
- 参考文献：保育所保育指針、幼稚園教育要領、他授業中に紹介

6. 実務経験の有無

- ☐ あり （ 資格・職種 : ）

7. その他

- なし

科目名	教育原理	担当者	河口陽子	クラス	期 別
				NT	通年

1. 教育目標

- ①我が国の教育制度の法的、制度的構造とその基本原理について説明できる。
- ②各種審議会の答申を踏まえながら、教育政策の動向を説明できる。
- ③教育の今日的諸問題を学校教育の制度的、原理的、政策的徴の観点から多角的に読み解き、教育が抱える本質的問題とそれを踏まえた未来展望について、自分の意見を述べることができる。

2. 授業内容

教育の原理とは、教育という営みを支えている理念的、構造的法則のことである。本講義では、我が国の公教育制度に焦点を当て、その理念的、構造的特徴を考察する。さらに、教育政策の動向や今日的な教育・社会問題を踏まえながら公教育制度の原理的問題について検討し、これからの教育の課題を考えていく。

3. 授業計画

1	ガイダンス～私が考える「教育」
2	教育とは何か（1）教育の目的
3	教育とは何か（2）教育の社会的機能
4	公教育とは何か～戦後公教育制度の理念と特徴
5	学校教育制度の原理（1）教育の形態と学校教育の特徴
6	学校教育制度の原理（2）学習指導要領と教育課程の編成
7	学校教育制度の原理（3）学校経営と学校の組織文化
8	学校教育制度の原理（4）教育の過程と経営の過程
9	学校教育制度の原理（5）学校の社会的機能
10	公教育制度のゆらぎ（1）我が国の教育政策の動向
11	公教育制度のゆらぎ（2）教育の私事化と公教育のパラドクス
12	公教育のパラドクスはなぜ生じたのか（1）歴史社会学的視点からの接近
13	公教育のパラドクスはなぜ生じたのか（2）教育政策的視点から接近
14	まとめ

4. 評価方法

レポート（70％）＋ 授業への参画度（30％）

5. テキスト及び参考書

近畿大学九州短期大学通信教育部編（1997）『教育原理』

6. 実務経験の有無

☐ あり （ 資格・職種 ： ）

7. その他

授業は、みんなで創り上げていくものです。積極的な参画を期待します。

科目名	造形表現（指導法）	担当者	中島 宏	クラス	期 別
				NT	通 年

1. 教育目標

表現方法を通じて、表現することの楽しさ、おもしろさ、工夫や創作意識の習得と指導技術を学ぶ

2. 授業内容

表現技術の習得と指導法

パネルシアターの制作と演技

3. 授業計画

1	表現技術Ⅰ
2	表現技術Ⅱ
3	表現技術Ⅲ
4	表現技術Ⅳ
5	表現技術Ⅴ
6	表現技術Ⅵ
7	表現技術Ⅶ
8	表現技術Ⅷ
9	表現技術Ⅸ
10	表現技術Ⅹ
11	表現技術Ⅺ
12	表現技術まとめ
13	パネルシアターの鑑賞
14	パネルシアターの技法
15	パネルシアターの制作
16	パネルシアターの演技

4. 評価方法

出席及び提出物による評価

5. テキスト及び参考書

近畿大学九州短期大学通信教育課程の指定テキストを使用する

6. その他

科目名	音楽表現(指導法)	担当者	有馬 あゆみ	クラス	期 別
				NT	通年

1. 教育目標

リトミックを中心に、感じたこと、思ったことを
体で表現する方法を学習する

2. 授業内容

音楽と動きを結びつけた指遊びや手遊び、リトミックを実技・実習する
グループワークや模擬授業を通して実践力を身につける

3. 授業計画

1	即時反応、強弱、速度、音高、空間 基礎リズム、アクセントと拍子
2	リズムパターン、フレーズ、ソルフェージュ
3	指あそび、手あそび、わらべ歌あそび
4	合唱、発表に向けた表現実習
5	リズム表現、パーカッションアンサンブル
6	演奏表現、コード伴奏法
7	音楽基礎知識
8	まとめ、合奏

4. 評価方法

- ・授業態度・意欲
- ・発表（手遊び実技・合奏・合唱）

5. テキスト及び参考書

- ・ダルクローズ教育法によるリトミックコーナー
- ・子どものための音楽表現技術

6. その他

- ・指遊びや手遊びは適宜プリント配付

科目名	幼児と環境	担当者	田上 和江	クラス	期 別
				NT	通年

1. 教育目標

子どもたちに影響を与える環境の現状・問題について説明することが出来る。現在の環境で子どもたちが生きる力を培うための保育の工夫、すなわち自然体験・社会体験などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然とのかかわりを深める保育を自ら設定して実践的に指導することが出来る。観察力や体験力・感受性の重要性について理解する。

2. 授業内容

- 幼稚園教育要領・保育所保育指針における「環境」の位置づけ
- 保育の基本と保育内容について
- 子どもの発達と環境の関連性について
- 子どもと環境における実践的な理解
- 領域「環境」と保育方法・保育の実態

3. 授業計画

1	子どもを取り巻く環境と環境を考える視点(第1章)
2	身近な環境とのかかわりと感性の育ち(第2章)
3	モノとのかかわりを通して生まれる育ち(第3章)
4	自然や社会とのかかわりを通して生まれる育ち(第4章・第5章)
5	保育における「領域」の意義と領域「環境」のねらい及び内容(第6章)
6	乳児保育における「環境」とのかかわり(第7章)
7	モノとのかかわりを支える保育の展開(第8章)
8	定期試験とまとめ

4. 評価方法

- 定期試験(70%)
- 出席・授業態度(30%)

5. テキスト及び参考書

- 久保健太・高嶋景子・宮里暁美編著『保育内容「環境」』ミネルヴァ書房, 2021.
- 無藤隆監修『事例で学ぶ保育内容一領域「環境」』萌文書林, 2018.
- 汐見稔幸・無藤隆監修『保育所保育指針幼稚園教育要領要保育連携型認定こども園教育・保育要領』ミネルヴァ書房, 2018.
- 井上美智子・無藤隆・神田浩行編著『むすんでみよう子どもと自然』北大路書房, 2010.

6. 実務経験の有無

☒ あり (経歴 : 幼稚園教諭として幼稚園勤務。保育士として保育園勤務。)

7. その他

科目名	環境（指導法）	担当者	藤崎 博喜	クラス	期 別
				こどもみらい科1年	通 年

1. 教育目標

- 身近な環境とのかかわりに関する領域『環境』の「ねらい」と「内容」を理解する。
- 身近な自然（季節と動植物等）とのかかわりに関する指導法を体得する。

2. 授業内容

保育所保育指針および幼稚園教育要領における『環境』の教育的ねらいは「周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。」ことである。

そこで、このねらいを達成するための領域『環境』のねらい及び内容について、実際の保育現場で、幼児の発達に即して「環境」との豊かなかかわりを育むための保育者の援助や配慮事項等を、五感を通して学び理解を深める。

3. 授業計画

【1日目】校外授業（保育園ひなた村自然塾）	
1	オリエンテーション 5領域としての『環境』の理解
2	自然を生かした保育実践（春）
3	
4	
【2日目】校外授業（保育園ひなた村自然塾）	
5	自然を生かした保育実践（秋）
6	
7	
8	『環境』を通した保育 総括

4. 評価方法

レポート「この授業（環境）で学んだこと」という課題でレポートを後日提出
提出物・出席・授業の取り組み姿勢により総合的に評価する。

5. テキスト及び参考書

- 新しい保育講座⑨『保育内容「環境」』久保健太・高嶋景子・宮里暁美（編著者）、ミネルヴァ書房、2021年
- 『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携認定こども園教育・保育指針（原本）』内閣府文部科学省厚生労働省、チャイルド本社、2017年

4. 実務経験の有無

☒ あり （実務：保育園園長）

科目名	幼児と言葉	担当者	立川 優子	クラス	期別
				NT	

1 教育目標

- ・人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義と機能について理解する。
- ・言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践について、基礎的な知識を身につける。
- ・児童文化財（絵本・物語・紙芝居等）について、基礎的な知識を身につける。

2 授業内容

領域「言葉」の指導の基盤となる幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、創造する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身につける。

3 授業計画

1	ガイダンス 五領域・言葉の発達・子どもとのコミュニケーション
2	読み聞かせの意義・絵本と紙芝居の共通点と違い
3	さまざまな言語教材・言葉遊び
4	手遊び・歌遊びの意義
5	手袋人形製作
6	手袋人形製作
7	手袋人形 演習
8	おはなし会の指導案作成

4 評価方法

出席状況・演習の取り組み姿勢…40%

提出物 手袋人形…30%、おはなし会の指導案…30%

5 テキスト及び参考書

《新訂》子どもと言葉

資料として適宜プリントを配布する

6 実務経験の有無

☒ あり（経歴:幼稚園教諭として幼稚園勤務、保育園・幼稚園にて就学前基礎教育外部講師）

7 その他

科目名	言葉（指導法）	担当者	立川 優子	クラス	期別
				NT	

1 教育目標

保育者として子どもの言葉の発達段階を理解し、年齢に合った言葉遊びを習得する。
さまざまな言語教材の特徴について理解し、遊びに活用する方法を理解する。

2 授業内容

①言葉の発達について、②さまざまな言葉あそびと活用方法、③言語教材の製作を座学およびグループワークで行う。

3 授業計画

1	言葉を通した楽しい関わり－基本的関係の構築・言葉を引き出す保育者の態度
2	様々な言葉遊び（なぞなぞ・スリーヒントクイズ・伝言ゲーム・しりとり）
3	言葉遊びの教材づくり（絵カード・ペープサート）
4	言葉遊びの教材づくり（絵カード・ペープサート）
5	言語教材づくり（パペット人形またはパネルシアター）
6	言語教材づくり（パペット人形またはパネルシアター）
7	言語教材づくり（パペット人形またはパネルシアター）
8	言語教材づくり（パペット人形またはパネルシアター）

4 評価方法

出席状況・演習の取り組み姿勢…40%

提出物 言葉遊びの教材…30%、言語教材…30%

5 テキスト及び参考書

資料として適宜プリントを配布する

6 実務経験の有無

☒ あり（経歴:幼稚園教諭として幼稚園勤務、保育園・幼稚園にて就学前基礎教育外部講師）

7 その他

科目名	社会福祉	担当者	池田 淳一	クラス	期 別
				N T	後期

1. 教育目標

本科目では、幼児教育および幼児保育にかかわる者の基礎的な知識として社会福祉全般の学びを深めていきます。児童問題だけでなく他分野が抱える課題や、各ライフステージにも目を向けていきます。

乳幼児というライフステージは、やがて児童、成人へと進んでいくなかで、さまざまな社会問題や福祉ニーズと出会うことがあります。あるいは、かかわっていく子どもの周辺環境が生活のしづらさに向き合うこともあるかもしれません。その際に、適切なかかわりが持てるようになることも目的とします。

2. 授業内容

授業計画は下記のとおりです。原則として授業の内容は、①前回の復習②講義③課題（または演習）④まとめ、という流れで行います。理解を進めていくために、さまざまツールを使いながら、授業を展開していきます。

3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	オリエンテーション②～私たちの社会とニーズ、貧困と福祉の歴史～
3	オリエンテーション③～防貧と社会保険、社会福祉施設～
4	オリエンテーション④～障害者の支援とノーマライゼーション～
5	オリエンテーション⑤～高齢者の支援と介護保険、および生きがいづくり～
6	オリエンテーション⑥～児童支援のしくみと家庭福祉～
7	オリエンテーション⑦～地域福祉と相談援助、利用者の権利～
8	授業前半のまとめ
9	社会福祉とは／日本の社会福祉の歴史
10	社会保障制度と社会福祉を展開する組織／子ども福祉
11	障害者福祉／高齢者福祉／介護保険制度と専門職の役割；チームアプローチの必要性
12	低所得者福祉／地域福祉とその推進方法／医療福祉／精神保健福祉
13	社会福祉施設の役割／社会福祉を担う人々／相談援助の目的と方法-SWの視点から-
14	社会福祉の実践事例／社会福祉をめぐる課題とコメディカルに期待される役割
15	まとめ

4. 評価方法

筆記試験 70点

平常点（出席・授業態度・授業成果物） 30点

5. テキスト及び参考書

鬼崎信好・本郷秀和編 コメディカルのための社会福祉概論 講談社

6. その他

科目名	社会的養護 I	担当者	中山 八保子	ク ラ ス	期 別
				こどもみらい科1年	通 年

1. 教育目標

社会的養護に関する基本的理解の習得（家庭養護、施設養護）

社会的養護を必要とする児童の理解

児童福祉施設における保育士の理解

2. 授業内容

児童養護の第一は、基本的人権の尊重を挙げることができる。『子どもの最善の利益』を追求するためには、家庭養護、施設養護を含めた社会的養護の基本的理解、社会的支援を受けながら生活している子どもとその家族に関わる際の姿勢、援助が必要になってくる。子どもを取り巻く社会の変化、3年次での児童福祉施設実習に向け、1年次の時点から児童福祉に興味を持ち、感じる力、考える力を身につけ、保育士としての役割、仕事内容を理解していく。

3. 授業計画

1	自己紹介、科目ガイダンス（社会的養護とは何か）
2	子育てについて（発達、社会状況）、子どもの権利
3	現代社会に暮らす子どもと家庭①（少子化、核家族化、地域とのつながり）
4	現代社会に暮らす子どもと家庭②（教育の過熱化、遊びの変化、食の変化）
5	現代社会に暮らす子どもと家庭③（社会的、学校、家庭内の問題）
6	児童虐待①（現状、定義、虐待に関する法律）
7	児童虐待②（虐待家族に関わる機関・施設・サービスについて）
8	社会的養護の体系（家庭養護、施設養護）
9	家庭養護（里親制度、ファミリーホーム）
10	里親制度について①
11	里親制度について②
12	施設養護（生活の形態）、自立援助ホーム
13	児童養護施設について①（日常生活における支援、自立に向けての支援）
14	児童養護施設について②（施設における保育士の役割、仕事内容）
15	期末試験

4. 評価方法

出席率（10%）授業態度（10%）ノート提出（10%）期末試験（70%）

5. テキスト及び参考書

「社会的養護 I」相澤 仁／林 浩康 編集（中央法規）

視聴覚教材（DVD、PP）、新聞記事

6. 実務経験の有無

- ☒ あり （ 資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許）
（ 実務経験：保育所、児童発達センター、児童養護施設 ）

科目名	劇遊び（指導法）	担当者	立川 優子	クラス	期別
				NT	

1 教育目標

保育者として子どもの表現活動の意義を理解し、年齢に合った劇遊びの指導法を習得する。
発表会に向けての取り組みの流れ、台本作り、演出、配役・衣装・背景、小道具などのポイントについて実践を通して理解する。

2 授業内容

グループごとに劇を練習し、保育園児に向けて発表する。

3 授業計画

1	お遊戯会・発表会のねらい・指導上の留意点
2	台本作り・挿入曲決め・配役・衣装打ち合わせ
3	大道具・小道具作成
4	台本読み合わせ、音楽・演出のすり合わせ
5	劇の練習
6	劇の練習
7	保育園での発表の総合練習（歌・人形劇・言葉遊びを含む）
8	保育園での発表

4 評価方法

出席・提出物・演習の取り組み姿勢により総合的に評価する。

5 テキスト及び参考書

資料として適宜プリントを配布する

6 実務経験の有無

☒ あり（経歴:幼稚園教諭として幼稚園勤務）

7 その他

科目名	教育課程総論	担当者	山下 和子	クラス	期 別
				N T	通年

1. 教育目標

- 幼児期の教育における教育課程の意義・基本的な理念と方向について理解する。
- 指導計画の意義について学び、作成された指導計画が幼児教育の実践と具体的にどのように関連するのか理解する。
- 子どもたちの実態に即して、自主的に教育計画を編成することができるようになるために必要な基礎的な力を養う。

2. 授業内容

教育課程の編成に当たって重要な要因である「その時期の子どもの発達の姿を的確に把握する」ために、幼児期の特徴や、教育課程の目的などを明確にし、具体的な教育課程の編成、指導計画の作成について学んでいく。

3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	教育課程の意義と方向
3	幼稚園・保育園・認定こども園
4	教育課程の基準
5	幼児教育課程の基本
6	基礎となる幼児の姿
7	目的・目標・ねらい・内容
8	教育課程の編成と指導計画の作成、評価
9	教育課程と指導計画の実例
10～11	指導案作成
12～14	模擬保育
15	試験と振り返り

4. 評価方法

試験 70%
 平常点 30%（出席状況、授業態度、提出物）

5. テキスト及び参考書

『新しい幼児教育課程総論』 岸井勇雄・横山文樹 著 同文書院、2011年
 『幼稚園連携認定こども園・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針（原本）』
 内閣府文部科学省厚生労働省 2017年

4. 実務経験の有無

☒ あり （ 資格 : 小学校教諭一種免許状、保育士 ）
 （ 実務 : 小学校教員 ）

科目名	教育方法論	担当者	村上 千津	クラス	期 別
				NT	後期

1. 教育目標

- (1) 幼児教育（保育）の方法や技術に関する基礎理論を理解する。
- (2) 現在の幼稚園教育に関する基本的な考え方、子ども理解に必要な基礎的事項を理解する。
- (3) 授業の内容をもって実習を振り返り、理論と実践のつながりを体験的に理解する。
- (4) さまざまな課題を通して、主体的に学ぶ態度を身につける。

2. 授業内容

家庭の教育力の低下、人間関係の希薄化、家庭支援、小学校教育との連携、地域との連携など多岐にわたる保育の課題を実現していくために、保育内容はどうかあるべきなのか。また、保育所や幼稚園の生活の中なかで、幼児一人ひとりが、喜びと充実感を伴った学びの体験をし、成長する喜びを実感しながら発達に必要な体験を積み重ねていけるような保育の方法について学ぶ。

3. 授業計画

1	幼児期にふさわしい教育・保育の方法
2	環境を通して行う教育・保育
3	子どもの育ちと環境（物的・人的・社会的）
4	幼児の主体的な生活を基盤とする教育・保育
5	幼児教育・保育における遊びのなかの学びを育む保育
6	幼児理解
7	幼児教育・保育における計画と評価
8	幼児教育における情報機器（ICT）の活用と幼児教育のこれから
9	保育実習指導とは
10	指導案の書き方・内容検討・班決め・指導案作成
11	指導案作成
12	学内発表・反省・修正
13	実践発表（高宮くすくすの丘保育園）
14	実践発表（高宮くすくすの丘保育園）
15	反省・講評

4. 評価方法

- ① 出席状況 ②学習態度 ③指導案作成 ④実践発表

5. テキスト及び参考書

テキスト 「幼児教育・保育のための教育方法論」・・・編者 垂見直樹・池田竜介
 参考書 「幼児教育の方法」・・・編者 小田 豊 青井 倫子
 〃 「保育所保育指針」 「幼稚園教育要領」

6. その他

科目名	教職概論	担当者	山下 和子	クラス	期 別
				N T	通 年

1. 教育目標

- 教育とは何か、教職の意義、教師に求められる資質についての理解を深める。
- 幼稚園・保育所の生活を把握し、遊びを通じた指導と教師の役割について認識を深める。
- 地域社会や保護者、教職員等との連携、協力の重要性について認識を深める。
- 教師をめぐる法律、教職の専門性と研修の必要性について理解する。

2. 授業内容

教師とは何か、子どもにとって教師（保育士）とは、教師の歴史、指導の方法と考え方、カウンセリングマインド、教師の職務内容など教職（保育専門職）について、さまざまな角度から考えていく。

今日の教師（保育士）をとりまく環境の厳しさにも目を向けた上で、使命感や責任感、子どもへの愛情を持って、教育（保育）の道に進んでゆけるよう、自分の能力と適正を見つめるとともに、教師（保育士）への意欲と自覚を養っていく。

3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	教育とは何か
3	教師の仕事について 3つの教育観
4	日本における教師の歴史
5	現代社会の子ども
6	幼稚園・保育所の生活と遊び
7	小学校での学習と専科教員
8	カウンセリングとカウンセリングマインド
9	保育・教育の場とカウンセリングマインド
10	国際化時代における教師の役割
11	情報化と教師の役割
12	教師の身分と服務義務
13	教師の研修の必要性
14	幼稚園教員に求められる専門性
15	振り返り

4. 評価方法

レポート提出（2課題） 70%、 出席状況・授業態度 30%

5. テキスト及び参考書

『改定教職入門』 古橋和夫[編] 萌文書林、2018年

4. 実務経験の有無

- ☒ あり （ 資格 ： 小学校教諭一種免許状、保育士 ）
（ 実務 ： 小学校教員 ）

科目名	教育実習事前事後指導	担当者	立川 優子	クラス	期別
				NT	後期

1 教育目標

- ①幼稚園の機能や幼稚園実習の意義・目的を理解する。
- ②実習の目標をもち、心構えや準備物をしっかりと行う。

2 授業内容

- ①幼稚園実習の流れと留意点、②実習の目標と日誌の書き方、③準備することについて学ぶ。

3 授業計画

1	実習の意義・目的
2	幼稚園の一日と保育者の配慮、保育用語の理解
3	実習生の関わりと部分実習の準備
4	実習生の関わりと部分実習の準備
5	幼稚園実習の流れと目標の設定、日誌・評価表の取り扱い

4 評価方法

出席・提出物（レポート）・準備物の取り組み姿勢により総合的に評価する。

5 テキスト及び参考書

近畿大学九州短期大学通信教育部より配本

6 実務経験の有無

☒ あり（経歴:幼稚園教諭として幼稚園勤務、保育士養成校非常勤講師として実習指導）

7 その他

科目名	保育内容総論	担当者	中山 八保子	ク ラ ス	期 別
				こどもみらい科1年	通 年

1. 教育目標

保育内容とは、幼稚園や保育所などの園生活を通して子どもが経験する内容のことであり、子どもにどのような経験が大切かを考える。

保育所保育指針、幼稚園教育要領に基づく保育の基本、保育の内容を踏まえ、保育の全体的構造を理解する。

「保育内容」と子ども理解の関わりについて、保育者の視点について理解する。

2. 授業内容

「保育所保育指針」について改定ポイントを中心に深く学び、保育内容について総合的に学ぶ。

保育をしていく際に必要なことを具体的に学びながら、保育についての理解を深める。

を行う。

初めての保育実習に向け、自己紹介カードを作成し、実際の保育に使えるように製作、発表を行う。

3. 授業計画

1	保育内容の理解、保育所、幼稚園の一日
2	保育所保育指針の改定ポイント、幼稚園教育要領における保育内容の捉え方
3	領域と保育内容、年齢と保育内容
4	自己紹介カード製作
5	自己紹介カード製作
6	自己紹介カード発表練習
7	自己紹介カード発表
8	自己紹介カード発表

4. 評価方法

- ① 授業態度、授業の取り組み (30%)
- ② 自己紹介カード製作、発表 (70%)

5. テキスト及び参考書

「保育内容総論」 酒井幸子・守巧著 (萌文書林)

「保育所保育指針解説書」 厚生労働省

「幼稚園教育要領解説」 文部科学省

6. 実務経験の有無

- ☒ あり (資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許)
(実務経験：保育所、児童発達センター、児童養護施設)

科目名	児童文化SC	担当者	立川 優子	クラス	期別
				NT	通年

1 教育目標

児童文化の概要・役割および内容を十分に理解し、児童文化を活用した実践的な保育が出来るようになることを目標とする。

2 授業内容

①児童文化の意義、②子どもにとっての遊びの意義、③さまざまな児童文化の特徴・活用方法について座学またはワークで学ぶ。

3 授業計画

	回	内 容	準備物
通 信 科 目	1	ガイダンス・子どもの権利と遊び	テキスト・ノート
	2	ぬりえの特徴と歴史	テキスト・ノート
	3	ぬりえの演習（紙皿シアター製作）	紙皿・のり はさみ・カラーペン
	4	折り紙の特徴と歴史	テキスト・ノート
	5	折り紙の演習（6月・7月の折り紙作品）	折り紙・画用紙・のり はさみ・カラーペン
	6	おもちゃの選び方・与え方	テキスト・ノート
	7	身近な素材のおもちゃ製作	折り紙・画用紙・のり はさみ・カラーペン
	8	身近な素材のおもちゃ製作	折り紙・画用紙・のり はさみ・カラーペン

4 評価方法

出席・演習の取り組み姿勢など平常点（50%）
提出作品（50%）

5 テキスト及び参考書

近畿大学九州短期大学通信教育部より配本

6 実務経験の有無

☒ あり（経歴:幼稚園教諭として幼稚園勤務、保育士支援サイトにて保育のアイデア情報発信）

7 その他

科目名	キャリア形成 I	担当者	山下 和子	クラス	期 別
				N T	通 年

1. 教育目標

- 自分を知り、保育の仕事についての理解を深め、今をどう生きるか自分で考え行動していく姿勢を身につける。

2. 授業計画

	内 容
1	オリエンテーション キャリアデザインはなぜ必要か
2～4	コミュニケーションスキルを磨こう
5	幼稚園1日体験に向けて（見学の視点と姿勢、身だしなみ）
6～9	仕事理解① 幼稚園1日体験
10	仕事理解② 幼稚園見学振り返り
11	教育実習報告会
12	保育所1日体験に向けて（見学の視点と姿勢 他）
13～16	仕事理解③ 保育所1日体験
17	学外実践発表①（保育園劇発表）
18～19	学外実践発表②（小規模保育園）
20	グループワーク クリスマス会 計画
21～24	グループワーク // 準備
25～26	グループワーク // 実践
27～29	幼稚園事前実習に向けて
30	振り返りとまとめ

2. 評価方法

提出物（50％） 出席状況、授業の取り組み状況および態度と意欲（50％）

4. 実務経験の有無

☒ あり （ 資格・職種 ： キャリアコンサルタント、キャリアサポーター ）

科目名	ピアノ演習Ⅰ	担当者	有馬 あゆみ	クラス	期 別
				NT	通年

1. 教育目標

幼児教育に携わる保育者の音楽技術の習得、
及び資質の向上を目指して学習する

2. 授業内容

一人ひとりのレベルに合わせたピアノレッスン
童謡の弾き歌いを目標に、ピアノ演奏法を基礎から身につける

3. 授業計画

1～15	実習及び保育現場で必須の童謡を中心とし、個々に研鑽を積む
------	------------------------------

4. 評価方法

- ・レッスンの受講姿勢
- ・毎回課題曲を1人ずつ演奏する
- ・試験当日課題を1人ずつ演奏する

5. テキスト及び参考書

- ・近畿大学テキスト（音楽ピアノ教本）
- ・その他
自身に合った子どもの歌やピアノ教本、またお気に入りの曲を選び演奏してみることをお勧めします。